

公会計事業別財務書類分析シート

事業類型： 固定資産整備型

決算対象年度： 令和元年度 対象年月： 令和 2年 3月
 会計： 一般会計
 局： 環境農政局
 所属： 環境農政局森林再生課（直通 045-210-4336）
 公会計事業： 林道費

1 主な事業内容

- ・林道開設延長を実施する。
- ・林道改良事業を実施する。
- ・林道維持管理を実施する。

2 行政コスト及び純資産変動計算書

(単位：千円)

科目	H29決算	H30決算	R01決算	H29-H30増減率	H30-R01増減率
経常費用	2,456,336	2,465,854	2,217,371	0.4%	△10.1%
人件費	148,437	153,788	163,759	3.6%	6.5%
物件費等 ※	2,224,212	2,243,039	1,999,255	0.8%	△10.9%
物件費	74,762	102,496	68,286	37.1%	△33.4%
維持補修費	99,032	175,910	84,847	77.6%	△51.8%
減価償却費	2,050,418	1,964,633	1,846,122	△4.2%	△6.0%
移転費用 ※	851	3,371	3,507	296.4%	4.0%
補助金等	851	2,373	3,505	179.0%	47.7%
社会保障給付	-	-	-	-	-
経常収益	24,786	25,994	26,091	4.9%	0.4%
使用料・手数料	-	-	-	-	-
その他	24,786	25,994	26,091	4.9%	0.4%
純経常行政コスト(経常収益-経常費用) ①	△ 2,431,550	△ 2,439,860	△ 2,191,281	△0.3%	10.2%
臨時損失	-	2,484	-	皆増	皆減
臨時利益	-	-	-	-	-
純行政コスト(①-臨時損失+臨時利益)	△ 2,431,550	△ 2,442,344	△ 2,191,281	△0.4%	10.3%
財源	160,123	175,022	157,061	9.3%	△10.3%
税収等	-	-	-	-	-
国等補助金	160,123	175,022	157,061	9.3%	△10.3%
本年度差額	△ 2,271,428	△ 2,267,323	△ 2,034,220	0.2%	10.3%
一般財源充当調整額	920,783	977,078	992,992	6.1%	1.6%

(注) ※印の下位科目は、内訳を抜粋しているため、合計が一致しない場合がある。

3 貸借対照表

(単位：千円)

科目	H30決算	R01決算	増減率	科目	H30決算	R01決算	増減率
【資産の部】				【負債の部】			
固定資産	32,097,657	30,859,393	△3.9%	固定負債	8,255,531	7,504,852	△9.1%
有形固定資産	32,097,657	30,859,393	△3.9%	県債	8,148,933	7,402,791	△9.2%
事業用資産	-	-	-	長期未払金	-	-	-
土地	-	-	-	退職手当引当金	106,598	102,061	△4.3%
建物	-	-	-	損失補償等引当金	-	-	-
建物減価償却累計額	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
工作物	-	-	-	流動負債	645,002	1,202,006	86.4%
工作物減価償却累計額	-	-	-	県債	633,796	1,190,477	87.8%
その他	-	-	-	未払金	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	賞与等引当金	11,206	11,529	2.9%
インフラ資産	32,097,657	30,859,393	△3.9%	預り金	-	-	-
土地	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
建物	-	-	-				
建物減価償却累計額	-	-	-				
工作物	129,949,750	130,596,526	0.5%				
工作物減価償却累計額	△ 97,995,598	△ 99,841,720	1.9%				
その他	-	-	-				
建設仮勘定	143,505	104,588	△27.1%				
物品	0	0	0.0%				
無形固定資産	-	-	-				
投資その他の資産	-	-	-	負債合計	8,900,533	8,706,858	△2.2%
流動資産	-	-	-	純資産合計	23,197,124	22,152,536	△4.5%
資産合計	32,097,657	30,859,393	△3.9%	負債及び純資産合計	32,097,657	30,859,393	△3.9%

(注) 負債の部における未払費用、前受金、前受費用は、その他流動負債に含む。

4 事業分析

① 行政コスト計算書及び純資産変動計算書(経常費用の経年比較)

主な増減(H30-R01の比較)は、維持補修費が91.1百万円(51.8%)減少しています。要因としては、既設林道の整備の減のためです。

② 貸借対照表(資産の部)

R01決算の内訳は、工作物が307.5億円で、資産の99.7%を占めています。そのほか、建設仮勘定が1.0億円となっています。

③ 貸借対照表(負債の部)

R01決算の内訳は、県債が85.9億円で、負債の98.7%、退職手当引当金が1.0億円で1.2%を占めています。

④ 貸借対照表(純資産合計)

R01決算では、資産合計308.6億円から負債合計87.1億円を差し引いた221.5億円が純資産合計となり、純資産比率(純資産合計/資産合計)は71.8%です。

⑤ 貸借対照表(資産の経年比較)

主な増減(H30-R01の比較)は、建設仮勘定が0.4億円(27.1%)減少しています。これは、着手していた林道の整備が終了したためです。

(注1) ②の分析のうち「建物」「工作物」「建設仮勘定」は、事業用資産及びインフラ資産を合算した上で、それぞれ減価償却累計額がある場合はその金額を控除しています。

(注2) ③の分析のうち、「県債」は、固定負債と流動負債を合算した金額です。

(注3) 他の公会計事業で保有する財産や、国、市町村が保有する財産を整備・修繕するために発行した「県債」や「人件費(退職手当引当金等)」が計上されていることなどにより、資産の計上がない、純資産合計がマイナスとなる場合があります。